

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L http://www.jaichi.jp
Eメール info@jaichi.jp
TEL <052> 916-2251
FAX <052> 916-2308

2007.11.25
No.955

発行責任者 梅野敏基 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

07確定 ヤマ場

07賃金確定闘争のヤマ場をむかえ各単組で精力的に交渉が取り組まれています。これまで給与と改定で、多くの単組で人事院勧告通り、年内差額精算を引き出しています。また地域手当では、碧南市職は、地域手当10%を維持。春日井市職も地域手当10%は変えない。長久手町職も「下げるといい人材が確保できないので、地域手当9%を維持したい」、中水も「10%維持」を引き出し、半田市職・武豊町職も現行を維持。岩倉市職は地域手当で「来年度8%でいくが本則を3%にしたい」の回答に対して、組合員のくらし守れと、最後までたたかう決意を固めています。瀬戸市職は、地域手当削減提案の撤回を求めてねばり強い交渉をつづけています。また新城市職は、ラスパイレスの改善に向けた協議を約束させました。名古屋では08年退職者の4号昇給、臨職賃金の年齢区分撤廃などを引き出したたかいを継続しています。



地域手当は10%を維持 碧南 春日井 など

組合員の エネルギーをバネに 犬山市職労

11月15日、退庁時決起集会を開催し、1000人の組合員が参加。犬山市当局が地域手当を平成22年4月から国並みの3%に削減するという提案に対して、「生活に大きな影響を受ける」「総務省や県の言うがまま

当局に改善強く要求

19日の団体交渉では、25人の組合員が参加し、「職員と家族の生活改善は使用者の責務、賃金水準の維持・改善をおこなうこと。地域手当の改悪は行わず、生涯賃金を確保すること。人員増など改善すること。臨時パート職員の均等待遇を行うこと」の回答を求めまし

地域手当の一方的な削減阻止 豊橋市職労

「22年から国基準に」といった提案を当局が迫ってきています。市職は、「賃金はもつとも重要な労働条件であり、一方的な削減は絶対に

「この要求はゆずれん」と 各単組とも精力的に交渉

国基準にされるのはけしからん」など、強い怒りと現行水準を守れの要求が持ち寄られました。森川委員長は「今日の決起集会に参加した組合員のエネルギーをバネに、団体交渉で要求前進に向け奮闘しよう」と訴えました。

た。当局は「賃金労働条件の変更は、労使合意が前提」と述べたものの、地域手当については「国は平成22年度には制度を完成するとしている、特別交付税の減額ということもあり、犬山でも22年度には3%にすることが求められている。従って、経過措置として、21年度までは現行どおり10%を維持するのが精一杯」とあくまでも国並み基準への削減に固執。市職は「納得いかない。再度、地域手当を含めて、現行の賃金水準の維持につながるよう制度改善について検討」を求め、当局は「労使合意できよう精力的に交渉を行っ



ていきたい」とし、交渉の継続を確認しました。反対「組合員の声に誠意を持って応えよ」と職場から組合員の声を集中し、攻撃を跳ね返すよう取り組みを進めています。



「賃金切り下げ反対」の圧倒的な庁内世論を広げて 1回目の団体交渉は、約2000人の組合員が参加し、次々と「国の言いなりでなく、市民のために概と今後の展望を持って働ける労働環境、賃金体系を」「現業職の格差を解消してほしい。総務省の現業職場の民間職場比較は、現

臨職の賃金改善は 大幅前進!

確定闘争では、非正規・関連労働者の要求をかかげ、たたかいを強めてきました。その結果、豊川市職では時間単価を5%水準で引き上げ、嘱託職員の報酬についても引き上げる。また、清須市職では、保育士80円、用務員・調理員

場の実態を無視したもので心外」「育児休暇は有給にしてほしい。生きていけば暮らしていければいい」という賃金では困る。」など22人が発言しました。また、各職場で、所属長要請行動を実施し、「一方的な地域手当の削減反対」「賃金制度の運用改善で賃金水準の引き上げ」など4項目を市長宛に要請する署名に取り組んでいます。支部・青年・女性・現評部も緊急の要求書を提出。団体報告集会をそれぞれの支部で実施しています。11月8日から毎日機関紙を配布し、庁内世論を広げています。しかし、第2回目の団体交渉では、賃金要求や人員問題の切実な訴えに対して、何ら誠実に応えようという姿勢がうかがえない回答で、組合は猛抗議。交渉は中断し、引き続き誠意ある回答を求め、職場からの運動を強めています。

20円、事務補助20円の引き上げ、早出・遅出については別の時間給の新設を実現。名古屋市労連では、賃金単価の年齢区分撤廃し、高位の賃金単価にあわせる回答。さらに名古屋市職では、長期臨職の大幅改善を求めています。半田市職では、臨職の賃金改善について何らかの検討をしたいと回答を引き出しています。その他の単組でも、改善をもとめ交渉を継続中です。

地域にもとめられる病院めざして 公立尾陽病院労組が住民と懇談



公立尾陽病院は、05年に産科・小児科が廃止され、経営問題や移転問題などがかえっています。

公立病院としての機能や役割が求められている中で、だれもが安心してくらせる地域医療をめざそうと11月18日、「公立尾陽病院の今後のあり方を考える学

習・懇談会」が、甚目寺町民会館で開催されました。

開会あいさつで、尾陽病院労組の見田書記長は「深刻化する医師不足で、救急医療もできなくなろうとしているいま、地域住民の期待にこたえる病院めざして運動をすすめたい」とあいさつしました。

学習会では、愛知県社会福祉推進協議会の加藤事務局長が、「医師不足は、政府与党による医療費抑制政策のもとで、医師の養成数を抑制しつづけ意図的に作り出されたもの」とその原因を説明。「地域住民の医療や健康に対する要求を把握し、自分のところ」だけでなく「地域丸ごと」の視点でネットワークをつくり県・国への運動をつくらう」と訴えました。

地域医療守りたいと真剣な討論

懇談会では、「妊産婦検診が来年5回まで無料で拡大されるが、尾陽のみならず地域の産婦人科がなくなり困っている」「看護師の配置・養成はどうなっているのか」などの声が出されました。また、東三河からかけつけた新城市市民病院の山崎さんが、「医師確保と

保育の大切さ学ぶ 東三河保育学習会

11月17日、御津町中央公民館で東三河保育学習会が開催され、21人が参加しました。名古屋市長味鏡保育園

園長の前田明美さんが「子どもたちの豊かな保育をみすえて」と題し講演。保育現場のさまざまな矛盾や公立保育園の重要性を学び、参加者は熱心に聞いていました。その後の交流で、「組



合を作ったよかった」(蒲郡)「合併してもみんなが協力し良い保育をしていこうという雰囲気が出てきた」(豊川)などの声がかれました。

共通の課題としては民営化の波が押し寄せ、臨職・パートが増えていることなどが出されました。

最後のとめでは「採算だけでなく、住民の命を守る」ことが大切。ひきつづき懇談会や、住民アンケートなどで広く声を聞き、町や病院に届けていきたい」とまとめられました。

非核の港をめざそう



名古屋港開港100周年 11.10シンポジウム

11月10日「港の軍事利用反対・非核の港をめざすシンポジウム」が名古屋港湾会館で開催され、約200人が参加しました。

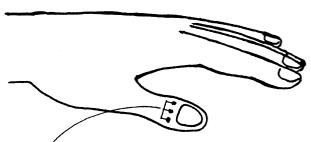
名古屋港湾関係労働組合協議会の田中洋行議長が実行委員会を代表し「外国艦船、自衛艦の入港を許さない平和運動を各港と交流しながら全国に広げよう」とあいさつしました。日本平和委員

会の佐藤光雄代表理事が「港はここまで戦争体制に組み込まれている」と題し基調講演。非核神戸方式の実践など全国の港から報告があり、「名古屋港を平和な港にするために多くの港や国民とともに運動をすすめ、世界に向けて港から平和のメッセージを発信していくことが重要です。」と非核の港をめざす決意を新たにしました。

ツボの話 のどが痛い時は 親指を刺激

風邪によるのどの症状改善に効果があるツボは「大指甲根(だいしこうこん)」親指のつめの生え際に、横に並んで3つあります。反対の手の親指のつめをツボに立てて、「×」の印が跡に残るく

らい刺激します。これを左右の3回繰り返します。



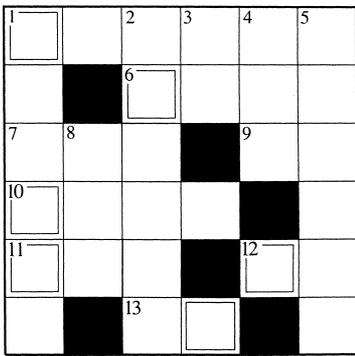
だいしこうこん
大指甲根
手の指のつめの生え際に3カ所。1つはつめの生え際の中央から約2ミリのところ。その左右3〜4ミリのところにも2つ。

おたのしみ プレゼントつき クイズ

左のクロスワードパズルを解き、解答および名前・組合名・職場をハガキに書いて送ってください。抽選で10人に図書カード1冊(1000円分)を贈呈します。

〒462-10845
名古屋市北区柳原3丁目7-18 自治労連愛知県本部教宣部 締め切りは11月9日必着。ハガキに必ず近況や職場での話題、「あいちの仲間」の感想や載せてほしい話など、書き添えてください。

クロスワード パズル



【ヨコのキー】①加熱空気、燃焼ガスを満たした気球 ⑥米国人の俗称 ⑦画家の敬称 ⑧古代ギリシャ彫刻の傑作 ⑩適切な人を選ぶこと ⑪金融機関に預ける金 ⑫晴れ ⑬曇り ⑭美しくすること

【タテのキー】①正月祝いに出す書状 ②主に女性の脚の美しさを言う旗。―を翻す

クイズの 当選者

- 坂野 恵実(春日井市職労)
- 春日井由子(春日井市職労)
- 宮瀬寿美代(蒲郡市職)
- 竹内 直美(半田市職)
- 村井見早子(長久手町職労)

訂正とお詫び

10月25日付け第953号のクイズ当選者の「951号の答え」↓「949号の答え」に訂正しお詫びします。

- 951号の答えは「センリュウ」でした。33通の応募があり、全員が正解でした。以下の方に図書カードを送ります。
- 高城 正子(豊橋市職労)
 - 魚住 郁子(学事 労)
 - 伊藤 國子(名古屋市職労)
 - 今枝美沙子(名古屋市職労)
 - 吉川 博(名古屋市職労)